

事例①（津市教育委員会の研修会）

- 研修名：令和6年度第1回地域とともにある学校づくり研修会
- 目的：今年度新たに地域とともにある学校づくりに関わっていただく方を対象とし、地域学校協働活動の意義や地域コーディネーターの役割等についての基礎的な知識の習得を目的とする。
- 主催者：津市教育委員会事務局教育総務部生涯学習課
- 開催日時：令和6年6月7日（金）
14時00分～16時00分
- 会場：芸濃総合文化センター 市民ホール
- 講義：コーディネーターの役割や必要性、
コーディネートの方法について
- 講師：全国体験活動ボランティア活動総合推進センター
コーディネーター 馬場 祐次朗 氏
- 受講対象者：新任校長、新たに地域コーディネーターとなられた方
（その他参加を希望される、学校運営協議会委員、社会教育委員、生涯学習情報バンクに登録されている方）
- 参加者数：58名
- 研修内容：



講義

- ◎地域コーディネーターは、教育（社会教育）に携わる職
- ◎そもそも地域学校協働活動とは
- ◎地域学校協働活動の必要性
- ◎学校・家庭・地域の連携を進める意義
- ◎コーディネーターの育成・確保がカギ
- ◎コーディネーターの役割
- ◎コーディネーターに求められる資質・能力
- ◎情報を収集・提供・発信する際の留意点
- ◎地域の教育資源の発掘と有効活用
- ◎地域情報を活用したコーディネート事例
- ◎皆さんへの期待

演習

ワークショップによる研修

<主な感想等>

- 今年から初めて地域コーディネーターと学校運営協議会委員を引き受けた。今回の研修を受けて、地域の方々から情報をもらい民生委員の仲間と少しでも貢献できるよう頑張る。
(地域コーディネーター)
- 地域の高齢者への期待に偏っており、保護者・PTA 世代の活動期待が必要だと思う。
(学校運営協議会)
- 自分がコーディネーターとしていかに行動していくべきか再確認できた。
(地域コーディネーター)
- 地域コーディネーターの役割を学ばせていただいた。自分ができることとしてまずは地域コーディネーターとしっかりつながることが大切だと思った。(校長)
- 地域と学校とで顔を見ながらやり取りすることの大切さ、まずは動いてみることの必要性を再確認した。(校長)